

平成29年度 基盤研究（S） 審査結果の所見

研究課題名	史上最大の CMB 望遠鏡群で観るビッグバン宇宙の種火とニュートリノ質量の絶対値
研究代表者	<p>田島 治            (大学共同利用機関法人高エネルギー加速器研究機構・素粒子原子核研究所・准教授)</p> <p>※平成29年6月末現在</p>
研究期間	平成29年度～平成33年度
コメント	<p>本研究は、宇宙背景マイクロ波放射の B モード揺らぎを精密測定することによって、宇宙誕生時の原始重力波を検出するとともに、ニュートリノ質量を高精度に測定しようとするものである。前者は、宇宙誕生時のインフレーション仮説の強い証拠を与え、後者は、素粒子論に大きい進展をもたらすと期待される。既に米国で建設が始まった <b>Simons Observatory</b> 計画に参加し、本研究によって、原始重力波検出に必須の大角度スケール揺らぎ測定に最適化した望遠鏡を設置する計画である。応募者はこの分野において顕著な成果を上げてきており、国際的な評価も高い。</p> <p>以上の理由により、基盤研究（S）として推進することが適当と判断した。</p>